

## 第54回市民ふれあいトーク =一緒に考える このまちの地域力=

日時 平成26年6月25日 18:30~20:00

場所 玉島西公民館 大会議室

### 要約版

#### 市長

皆さんこんばんは。今日はそれぞれお忙しい中、市民ふれあいトークに参加をいただきまして、誠にありがとうございます。前回、この玉島西公民館に参りましたのが、平成23年の震災のすぐ後くらいだったと記憶しております。皆さんからも防災のことについて、また倉敷市が東日本にどうい支援をすべきなのかとか、そういうご意見を頂いたことを覚えておまして、それから3年近くということで、おかげさまで市民ふれあいトークも今日54回目を迎えました。各地域の公民館の方にお邪魔してお話を伺ったり、文化、子育て、防災とかというテーマごとの分をいたしましたり、それから市内には大学が11ございまして、大学の方へお伺いをして学生さんたちのご意見を聞いたりということで、色々やってきておりました。それで地域の各公民館の方にお伺いをもう一度、2~3年経ちましたので、是非したいということで今回お願いをした次第でございます。本当に地域の皆様には、いつも大変お世話になっており、そして今日のテーマでもあります「一緒に考える このまちの地域力」ということで、是非とも色んなご意見をお話していただければありがたいと思っております。さて、最初に私の方から簡単に、最近の玉島の状況でありますとか、倉敷市の全般的な状況でありますとか、この3年でこういうふうに変わったとか、そのあたりのお話をさせていただいて、それから意見交換というような形でできればと思っております。

前回平成23年の時にお伺いをしまして、先ほど申し上げましたように東日本大震災の直後でございました。その時に参加者の方から、倉敷市の防災がまだまだなっとらんと。避難所とかまだ地図もできてなかったり、自主防災組織もまだまだ少ないとか、そういうことを言っていた覚えがございます。倉敷市の今の防災の現状でございますけど、地域の皆さんが色んな活動をしていただいております、当時はまだ30%くらいだったでしょうか、防災組織率が。今やと先日市内の自主防災組織の防災組織率が50%を超えました。岡山県内の平均が約60%くらいです。全国はもうちょっと高いようでございまして、まだまだこの組織率は、ちょっと低いと聞いております。ただ、既にこの防災組織という形ではなくて、各町内会や各団体の方で取り組みをしていただいているところもたくさんありますので、実際のところはもっと準備ができていると思っておりますけれども、そういう状況であります。

それから避難場所のことについて。これ(津波ハザードマップ)は玉島地区の地図です。家にこれが配達をしてあるのを中を開いて見たなという方はどのくらいいらっしゃいますでしょうか。8割近くの方が見たということで、誠にありがとうございます。以前作りました時が、平成15、6年くらいだったものですので、平成16年の大きな台風災害、それから平成23年の東日本大震災なども踏まえまして、倉敷市で南海トラフのような大きな地震が起こった時にどのくらいの津波の被害が来るのか、またどのくらいの時間で来るのかを示したものを、お家の方にお配りしております。現在ここに皆さんがおります玉島西公民館は海拔が4.2mで、ここは緑の三角の屋根のマークがありまして、大丈夫でござ

ざいます。津波の浸水が3 mぐらいまでの所が、約2時間か2時間半ぐらいで、東日本大震災ぐらいの大きな地震が起こった時に来ると積算をされておりまして、こういう地図を作っております。倉敷市全般ですけれども、そんなに海拔が高い所ばかりじゃないので、避難場所を少しでも増やした方がいいんじゃないかとお話をいただきました。以来、市内の各小学校とか中学校は避難所ですけれども、その後県立高校と協定を結びました。県立ですので管轄は県になるんですけれども、玉島商業高校、玉島高校、それからちょっと北の方になりますけれども作陽学園さんとも協定を結びまして、当地域から近い所ではあすなる園さん、特別養護老人ホームとも協定を結びました。いざという時の避難場所ということであすなる園さんは、ちょっと体が、歩きにくいとか、普通に避難所で長期間というのが難しい方、要支援者の方に避難をしていただける場所として協定を結んだりしております。それから、これもご意見で頂いたことを記憶しておりますけれども、公設の避難所に行くまでに、大きな川があるとか、大きな用水路があるとか、崖が有る所を通らないとそこへ行きにくいという所もあると。それで自分の集会所で、自分の地域の集会所を届出避難所として登録をして、公設の避難所にはちょっと危険なので行けないけれど、地域の集会所だったら自分たちで、防災組織ということで運営できるんじゃないかというご意見もいただきまして、今、届出避難所という制度を設けたところでございます。市内全般で今、70何か所ぐらい届出をいただき、地域で監督をしていざという時の避難場所にするという仕組みなどを作ったりしております。

それから、防災から離れるんですけど、今いくつかの大きな公共の事業というものがこの玉島の地域でも行われております。一つは皆さんのお家の近くからと言いますと、唐船の所の道が少し良くなりまして、通っているんですが、もうちょっと金光の佐方の方までの道路が、本当はもっと続いていくんですけれども、まずは佐方の所までを26年度中にオープンできる予定となっております。

それから国道2号の方で、高梁川の所を渡ります橋でいつも大変混むところがございませぬ。橋の所だけ2車線になっていまして、朝夕にどっちから行くにも非常に混んでいるわけですけれども、国とずっと交渉してきまして、やっと今年度から4車線化の工事を始めていただけるようになりまして。ただちょっと2~3年ではできないんですけれども、大体5年ぐらいはかかると思うんです。今の2車線の橋が4車線になるということで、そうしたら今より随分良くなるんじゃないかと思っております。

それから、玉島のクラレさんの所とJFEの方とを結ぶ大きな国の方の橋が、今工事をしておりますけれども、こちらがあと2年ぐらいで大体できる予定となっております。主にコンビナートの車が通られると思っておりますけれども、勿論、住民の方も通れる道路になります。橋がいくつかある中で、非常に混んだりしている所が少しずつ分散をされて、かつ通りやすくなっていくようにできるんじゃないかと思っております。

いずれも、市と県や国と協力をしてやっているんです。倉敷市の中でも幹線道路が、整備の大きな環状の所が進んでおりませんでしたので、それをここ5年ぐらいで何とか開通できるようにしたいと思っております。例えばイオンの前の道路の方も開通をして、橋の方まで行くようになって、行かれる時には割と早くなったんじゃないかと思っておりますし、それから真備町、船穂町の方にも抜ける橋を今造っている。別に橋ばかり造っているわけではないんですけど、これまで計画があって中途半端になっていたものとか、造らないと効果が出ませんので、造るのに5年ぐらいかかります。市としては幹線の所をまずしっ

かり通して、少しでも渋滞が減るようにということで頑張っているところでございます。

それから、玉島みなと公園が平成24年の夏にオープンさせていただき、その前に玉島の市民交流センターの方で公民館と合築しましたのを新しくやり替えをし、皆さんに大変多くご利用していただいているような状況でございます。

玉島のことを色々お話したんですけど、倉敷市全体としては今どんな状況かと言いますと、観光客の方も以前と比べて、少しずつ増えてきているというのが現状でございます。景気の回復も少し出てきているということもあるでしょうし、倉敷の美観地区の観光客の方、それから今日私も上着を着ておりますが、児島のデニム産業の方がジーンズストリートとかが非常に盛んでして、外国のお客さんも結構来られているような状況になっております。そこで町並み重点保存地区が玉島の中にあり、町並みのことに皆さん色々ご尽力をいただいていると思いますけれども、是非私としては今のところ倉敷市内で、外国人の観光客の方がちょっと少ないのが玉島地区になっております。と言ってもいっぺんにどんどん来られるのも困るかもしれないんですけど、せつかくですので、2020年、割とすぐ、外国人の方が非常に多く日本に来られるようになります。市としましても、これからの観光の中で東京オリンピック、東京にたくさん来るわけです。多くの人は、まず京都まではきっと来るんじゃないかと思えます、外国の方は。そこから、例えば広島とかにも行くんだと思えますけれども、その間に、倉敷市の玉島とか、児島とか、倉敷とか、そういう所へ来てもらえるように誘致もしたいと思えますし、地域の皆さんにもご協力をお願いしたいと思っております。歴史の発信、文化の発信を頑張っていきたいと思っております。

すみません。私ばかり話しておりますして申し訳ありませんが、最初に申しあげました防災のことで、もう一つだけ申し上げたいのです。倉敷市から今、東日本に最初は何十人単位で、例えば瓦礫の撤去ということで職員を出しておりました。例えば宮城県の松島には私たちの職員が40人単位ぐらいで、3か月間駐在をしまして、松島の瓦礫を全部倉敷市が最後まで撤去しまして、今、完全に復興されております。それによって松島の方から倉敷に、是非、観光交流協定を結びたいということで言ってこられまして、今お互いに観光で交流をしたり、それから東京で一緒に発信をしたりということをやっております。それから現在は福島県の南相馬市、原発から割と近い所ですけど、そこに集団移転の担当に1人と、それから福島県庁にやはりこちらの方も県内の公共施設の地震の災害で倒れたものとかのやり替えを担当する職員を1人、それから宮城県の塩釜市へ建築の職員さんに1人行ってもらいまして、浸水をしたところの建て替えをしたり、それから岩手県の大槌町に職員を出しまして、そこでも集団移転とか土地のかさ上げなどの仕事を担当させていただいております。長期派遣でそれぞれ3、4カ月ごとに交代してもらって4名現地の方に行っておりますが、これまでに延べで倉敷市の職員が230名ほど現地に行きまして活動しております。これからも中長期的にしっかり支援をしていくことが必要だと思っておりますので、皆様のご理解のほどお願いしたいと思っております。

今日のテーマ、「一緒に考える このまちの地域力」、色んな観点があると思えます。地域力、地域での活動、防災のこと、学生さんのこと、地域のこういう所を改良したらとか、PRをもっとすべきところとか、そういうことにつきまして「こういうところはどうなっているんでしょうか」とか、「自分はこういう意見を持っているんだ」というのを教えていただければ、有り難いと思っておりますのでよろしく申し上げます。

## 参加者 A さん

私は対岸の乙島の北部に住んでいる者ですが、「一緒に考える このまちの地域力」というテーマは、単に狭いこの柏島地区だけのものではなくて、玉島ひいては倉敷の力、更に推し進めて言えば岡山県の力という観点から、このふれあいトークに参加させていただきました。一昨年でしたか、NHKで平清盛という大河ドラマが放映されましたが、私は欠かさずこの番組を見たわけではなかったのですが、確信を持って言えないのですが、確かにこのドラマには水島源平合戦のことには何も触れられていなかったようです。もしあの脚本を書いた作者が、水島合戦でそれまで連戦連敗で、その結果として都落ちをしていた平家が、この水島合戦で初めての大勝利をおさめて、源氏に対して反撃のきっかけになったとされていることを知っておれば、当然この水島でのバトルがテレビで放映されたいだろうと思います。それほどこの水島合戦はメディア向きの戦いで、ドラマティックなものだったことは源平盛衰記にも詳しく述べられています。何しろ私たちの目の前にある玉島の港になっている狭い水路を挟んでの海上戦の最中に、日食が起こり源氏の兵が大変驚き、それがもとで大混乱、そして源氏大敗の大きな原因の一つになったことは源平盛衰記にも書かれていて、地元玉島でも識者の間ではよく知られている歴史上の事実です。私は今、源平水島合戦という本を図書館で借りてここに持ってありますが、この本には玉島文化協会が中心になって、昭和58年に源平水島合戦が行われてちょうど800年になることを記念しての各種記念事業のことと、源平水島合戦についての歴史を、郷土史家による論文が載せられております。私はこの本を読むまでは、源平水島合戦について知識は非常に限られていて恥ずかしいほどでした。勿論30年も前に当時の倉敷市長であった私の恩師である滝澤義夫先生をも動かして、今の水玉ブリッジライン、玉島大橋の西の端に源平水島合戦800周年を記念して石碑と小公園が造られていることは知りませんでした。この小公園と石碑はその事業計画にもあるように、将来観光物あるいは史跡的シンボルとなるような石で建立するとなっております。この私たちの先輩の意志を活かしてこのまちのために成すべきことは、まず早く玉島大橋という名称を、源平水島合戦大橋とか、愛称として一部の人の間でのみ知られている源平大橋という名前を正式なものにすれば、おのずと人々に知れ渡り、そこから色々な知恵が生まれると思います。例えば柏島という地名は、その当時は水の島、水島と呼ばれていたそうですが、どうして水島というと、郷土史家によると浅い井戸であるにもかかわらず、きれいな水がこんこんと湧き出る井戸が5か所あったそうです。これにちなんで水島と呼ばれていたそうです。現在その井戸がいくつ残っているか私は知りませんが、これらの井戸を復元すればこの地の地域力の力水になることは十分考えられます。

最後に市長さんをお願いさせていただくことは、玉島大橋という名称を先ほど述べたように愛称としてではなく、正式名称として源平大橋とか、もっと具体的に源平水島合戦大橋とかに変えるように、県に働きかけていただきたい。

2番目をお願いしたいことは、お金が必要なことなので困難を伴うことと思いますが、水島の名前の由来になった5か所の井戸の復元をしていただければと思っております。

3番目をお願いしたいことは、これもお金が必要なことですが、水島合戦水島古戦場という記念碑とその小公園のすぐ南側を水玉ブリッジラインが通っているんですが、駐車場がないため行けないので、大きくなくてもいいから、数台でもいいですから駐車できる駐車場を造っていただけたらと思います。

最後によそから来た人間でおこがましいんですが、地元の人も来られていると思います。が、せっかく小さいながらも立派な記念公園と日食の模様入りの石碑が建てられているので、時々草取りなど管理をしていただければ、あるいはそういうことが難しければ、西中が近いので学校の方でそういうふうな指導をいただければ、30年も前の私たちの先輩の意志も生かされるし、この地区の宝がその輝きを増すことは確かだと思います。それに多少でも市からの管理料が入るのではないかと思います。

#### 市長

はい、ありがとうございました。玉島大橋の名前を源平合戦大橋に変えたらどうかということですね。確か正式名称は玉島大橋になっていると思いますけど、皆さん、源平大橋と言われたり、水玉ブリッジとか、水玉ラインとか色々言われていらっしゃると思います。今お話しされました5か所の井戸の話は私も知らなかったんですけど、日食で平家が、一番最後に勝った戦いがここで行われたものだと言われていると思います。源平合戦が行われた非常に歴史的な場所であるということだと思いますし、それから市の方もまだまだPRがちょっと足りないかなと思っております。ちなみに地元の皆さんでたまに散歩でそこに行かれる方はいらっしゃいますか。20%ぐらいでしょうか。ホームページとかを見ますと、歴史が非常に好きな人は自分でホームページに、ここへ行って、そういう碑があつてと書かれていますので、知る人ぞ知るといふことだと思います。それで市の方のPRもちょっとまだまだかなと思いますので、観光とかのホームページとかでPRをしたいと思います。あと名前ですね。名前は玉島大橋が正式名称です。愛称でなんと呼ぶかというのは、地域の皆さんがそれぞれ呼ばれているんですけど、正式名称を変えとなると、ちょっとややこしい手続きにはなります。地域の皆さんと色々相談をして、玉島大橋を例えば源平大橋に変えようとか、観光の面でこういう効果があるとか、そういうことを相談しないといけなくなるかとは思いますが、まずはこの源平の古戦場のPRをもうちょっとやればと思っております。それで盛り上がってきたら名前が変わればいいのかも思っているんですが、地域の皆さんが、まずそのことについて色んなお考えがあるかもしれません。歴史家の間にも非常に有名な場所だと思いますし、考えとしては非常に良いかと思っております。大変貴重なご意見ありがとうございました。

#### 参加者Bさん

玉島商業高校の者です。今、玉島の商店街を活性化するために、私たち高校生にできることは何かあるでしょうか。アドバイスなどをお願いします。

#### 市長

今日は二人来てくださってるんですね。(お二人を)どこかで見られたこともあるんじゃないかと。今年の1月の玉テレさんのお正月番組に玉島の高校生代表で出てくれて、対談しましたよね。どうもありがとうございました。

今商店街のことを言うていただきました。商店街を活性化する方法ということで、私も何か言おうと思うんですが、高校生から見てどうですか。現状と、もうちょっとこうしたらよくなるとか、自分なりのアイデアがあつたりするでしょうか。確か色んな商品を高校でも開発していると言われていたんですが、何かちょっと言ってもらったら。

### 参加者 B さん

私たち高校生と一緒に、地域の方々も商店街を盛り上げられたらいいなと思っています。私たちの1つ上の先輩方が、玉島の特産品の桃を使って、桃ジャムを作って販売しました。玉島の文化祭や玉島祭り、天満屋などで販売しました。

### 市長

なるほど、ありがとうございます。玉商で1つ上の学年の皆さんが色々検討して、桃のジャムを作って文化祭とか、色んな場所で売ったりしてくださっているということで大変すばらしい活動だと思います。商店街、それからこの玉島地域の大きな産業として、桃をはじめとする農業というのは、本当に素晴らしい力だと思います。

7月の末位なんですけど、毎年大阪とか神戸とか東京とか名古屋とか鹿児島とか、市の方からもPR隊を組みまして、地域の産物を、玉島の桃、それから船穂のマスカット、それから例えば倉敷のイ草とか、児島のジーンズとかを持って行ってPRをしているんですけども、その時にやっぱり非常に人気があるのが、玉島の何と言っても桃でございます。みんな他の地域の方は、特に関東の方はパッと見たら色が白いから、「これはあとのくらいいしたら食べられるんですか。」と聞かれるんですけど、「そうじゃなくてこれを持って帰って食べる直前に、1時間半ぐらい冷蔵庫で冷やしてから食べてくれたら甘いですよ。」と言って試供品で配りましたら、お手紙が何通か来ます。白いから甘くないかと思ったけど、東京の方にある桃とは全然違って、倉敷市の桃っていうのは大変おいしいし、品質が高いと。それから外人の方とかが言われたのは、今一部玉島でも検討してくださっていますが、台湾とか香港とか上海とか、中国アジア圏の方に玉島の桃を輸出して、向こうで非常に高級なものとして取り扱いをされていると伺っております。1つ3千円とか。デパートで、ある程度大きなもので。それでも現地のお金持ちは飛ぶように買っていられると聞いておりますので、そういうことをもっとしたり。それから今、ジャムのお話をしてくれましたけれど、なかなか1年中、生ものであるわけじゃないので、加工品をもっと出せるようにするとか、色んなことが考えられるんじゃないかと思っております。

船穂に、船穂ワイナリーというのがございます。ちなみに行ったことがある方、いらっしゃいますか？10%ぐらいですね。倉敷市が船穂町と合併します時に、船穂の農業公社だったので倉敷市が引き継ぎまして、今倉敷市の経営でやっております。最初ちょっと赤字だったんですけど、船穂ワイナリーということでマスカット・オブ・アレキサンドリアから作ったワイン、それから船穂の金時人参があります。金時人参のジュースとかを開発しましてPRに努めました結果、今やっと、ちょっと黒字になってきました。やはり倉敷市の産物というのは、非常に質が高いというのを皆さんご存知でいらっしゃいます。

話を元に戻しますと、商店街、市内や玉島の中にもたくさん商店街がございます。町並み保存地区、清心町、仲買町、指定されている地域があります。児島にも下津井の地域、それから倉敷にも美観地区があるんですけども、商店街の方に伺いますと、前よりは少しだけ、歩いている人が、来る人が増えてきていると言ってくださっているんです。というのが何かと言いますと、玉島の綿、綿花を使った町興しというのを地域の皆さんが行っていただいて、それを玉島の観光ガイド協会の方とか綿づくりとかしてくださっている人とかが情報発信をしていたら、昔からの歴史に興味がある方が、わざわざ東京とか埼玉とかから来て、「ホームページを見てきました。」と言ってこの商店街に歩いて来てくださっ

ているそうです。その中にいくつか重要なことがあると思うんですが、地域の皆さんのご協力が一番重要だと思います。さっきの源平合戦のこともそうですけれど、地域の歴史を発信するということが非常に大切なことだと思っております。例えば、児島のデニムの生地を外国に売りに行く時に、勿論服が格好いいから買いますという方はいらっしゃるんですが、それだけではなくて外国の方が言われるのは、何でこのデニムの産業が倉敷市の児島でやっているんですかということ、必ず聞かれます。児島の地域はもともと海で、川の沖積作用で地面になって、最初からお米が作られない訳ですので、塩分に強い綿花を作って、それで綿花から繊維産業が盛んになって、小倉織とか真田紐とかを作って、それから作業服、セーラー服、そしてジーンズになってきました、ということを行います。ちょうどこの生地がデニムですけど、フランスに行った時に、デニムというのは、実はデ・ニームとなりまして、「デ」というのはフランス語で「の」という意味です。「ニーム」というのはフランスの「ニーム」という場所です、「フランスのニームの」というのが実はデニムのことなんです。それで倉敷市の児島と同じように、塩分の強い地域でできたニームの生地がこういう非常に強い生地、色で染めて色々なところに使われた、そこからデニム生地ということになってアメリカにその生地が渡って、ジーンズというのが作られて、そこから倉敷市の児島に入ってきて、児島の繊維産業の技術力が非常に高いもので、質が高いものができて、今それをフランスへまた持って行って、全世界にPRしているんですといった話をすると、フランスの人たちは、日本とフランスとの繋がりを、この生地の繋りで非常に深く見てくれて、その価値を見出してくれるというのが分かりました。それで、備中の綿花のこともそうだと思うんですけど、今、円通寺の下の所で、少し綿花の栽培を皆さんがしてくださっているんですけど、備中の綿の元々の歴史であるとか、源平の歴史、地域の歴史というものを是非とも発信をしていける商店街であってほしいし、そこに学生さんとか地域の皆さん、それから例えば作陽大学さん、地域の婦人会とか、おかみさん会とか皆さんが色々な協力をして、商店街からも発信をしてもらえるような、そういう仕組みができればいいなと思っております。ただ勿論、住民の皆さんの活動だけではなくて、市が例えば市民交流センターを整備したり、樋門、3丁目の夕日の所の水門の跡の所を整備しておりますけれども、いくつかポイントとなる所に、例えば市が駐車場を整備したり、それから核となる施設を整備したりして、それと住民の皆さんの活動というものが一緒になって、商店街を盛り上げられるようにできればいいなと思っております。何か、学生としてこれはやってみたいということはありませんか。

#### **参加者 B さん**

私としては、昨年度と同様に新商品を開発して、地域の方々にも販売できるようにしたいなと思っております。

#### **市長**

はい、ありがとうございます。是非それをまた、高校のホームページとか、色々な所で発信をしてもらえるとありがたいです。よろしくお願いいたします。

#### **参加者 C さん**

市長が来られる前に、玉商の学生さんと話をしたんですけど、倉敷市には、月に一回、

三斎市，朝市ですね，そこへ倉商の学生さんが，大体10人前後ぐらい来られて，さっき彼女が言われたように，自分たちのアイデアで作ったものを，実際，先生方と一緒に販売しとるわけです。シーズンごとに新しい商品を作られとんです。足りないところは先生がフォローして教えてくださるんですけど。倉商の学生さんは非常に意欲的で，朝市のカタログをプロが作るように，実際自分で作られて，僕，最初見た頃はプロが作っとんじゃないかと思って，いや，私たちが作っていますと言って，裏表。商品を作ることも素晴らしいんですけど，そういうPR，発信が非常にうまいなと思って。

倉敷に阿智神社というのがあるんですけど，お祭りのときには必ず200段の石段を，倉商と倉工の学生がかつぐわけです。僕も危ないから，雨が降った時には石段のところを見るんですけど，時々割れとることがある。すぐ市に連絡して，危ないから即直してくださいと。若い人が行動するんですけど，我々大人は黒子じゃないですけど，陰で支えるようなことをしてあげれば，若い人がよりやりやすいと思うんで。前，市長が言われたように，同じ高校レベルでも，交流会というのをやれば，お互いに他校の学生がどういうことを考えとるかということが，情報も入ってくるし，それを生かしてやっていただきたいなということで。市の方も若い人が活躍できるように援助していただきたいと思いました。

#### 市長

はい，ありがとうございました。高校生に期待するお話をいただきました。

校長先生，今の高校は地域のボランティアの時間というのが必修みたいになったのは，いつから，年間どのくらいの時間ですか。

#### 参加者Dさん

社会貢献活動ということで，卒業するまでにはしなければいけないということで，本校の場合は溜川の清掃に行ったり，円通寺のお掃除に行ったり，結構プログラムがたくさんあり，他の学校より多いと思います。どこの学校でも，これを組むのが大変な状態になるんです。年間5日程度，卒業するまでには15日ぐらいは何かしらの社会貢献をして出ていくということです。ただ，掃除をするだけでは，僕はダメだと思っていて，子どもたちがその中から何か課題を見つけてくれたり，何かしら課題を解決するような発信をしてくれるということが，本来の社会貢献活動の目的だと思っています。

#### 市長

ありがとうございます。ちなみに，何をやるというのは，学校の方で選ぶんですか。それとも学生さんが見つけてきてというか，どうでしょうか。実は，他の高校から，自分達ボランティアをやりたいんですけど，何やればいいんですか，と結構聞かれることがあるんです。でも一方で，地域の方でお話を伺うと，若い人とかがもっと交流してやってくれたらいいなと言われる方も多いんですけど，どうでしょうか。

#### 参加者Dさん

社会貢献活動という形で決められているのが，ちょっとめんどくさいです，我々も。年間5日，全部の生徒が行っているとか，それを我々が把握しなければいけないということがあって。今，市長が言われたみたいに，じゃあここのボランティアがありますから来て



くださいということになると、県は公式には認めてくれないということもあるので、その部分の仕組みの齟齬があるんですよ。それは市長の方から県に言っていただければいいと思うんですけど、社会貢献活動という形で、大卒でやっているのは、全部の生徒が、とりあえずは5日間位は、年間参加していると。それ以外で何かボランティアでお願いできませんかということで、学校に個別に言ってきて下さったら、紹介をして生徒を出すようにしてますので、ご紹介いただければ、対応するつもりにしておりますから。

#### 市長

はい、分かりました。今、校長先生が言われたように、やっぱり清掃活動ももちろん重要なことだと思うんですけど、例えば商店街とかに高校生の皆さんが来て、最初はいろんな話を聞くところから始めて、それで商店街のお祭りを手伝ったりとか。5日間というのは、商店主の人にハンコを押してもらおうとかですね、そういうのがあればいいんですけど。そういうこととか、地域の自主防災組織の研修と一緒に参加してくれたりとか、もっといろんなことができたらいいなと思うんですけど。

#### 参加者Dさん

うちだけじゃなくて、中学校さんとか、他の高校も含めて、トータルでやるのがいいと思うんです。うちだけやるっていうのは、おこがましい感じがしますから。

#### 市長

そうですね、でも商店街は特に玉商さんですので、商業だけに期待してるとお思いますので、ぜひ、よろしく願います。ありがとうございます。

#### 参加者Eさん

私は車で運転する訪問ヘルパーをしているんですけど、運転していたら色々気になることがありまして、来させてもらったんです。

岡山ではイオンができるということで、渋滞を緩和するために、信号を調整したりされるということ、新聞で読んだりしてるんですけど、倉敷でもぜひ、信号を調整していただけたらいいなと思ったり。あと、私は、イオンに行く前の新しい道を通るんですけど、信号がたくさんあって、全く車も人も通らないところに信号があったりして、そこで1分とか時間がかかったり。それで結局、土手から回った方が早いと思って、土手から行ったりということもあるんです。成人病センターの辺とかで、すごく早く時差式信号が変わるところがあるんですけど、お年寄りが通れるぐらいの時間は必要だと思うんですけど、全く人が通らないところに信号があり、ずっと止まってなきゃいけないということが結構あるので、調整していただけたらと思いました。

あと、船穂大橋から玉島に行くところは、割り込みがものすごくあったりするので、みんなが一列に並んでいるところを、絶対ここは2車線じゃなくて1車線になるのが分かっているのに、途中から入って来られる、むちゃくちゃギリギリのところに入って来られる方がいて、結構危ない所があったり。アイドリングが気になったりとか、いろいろあるんですけど。車でエコが気になるなど、昼寝をされていたり、車で。

## 市長

ありがとうございました。今、交通のことでいろいろご提言をいただきました。イオンの前のところの道、一応県の道なんですけど、信号がありまして、確かにいくつか、多分メートルで、ある程度ごとに置かないといけないというので、信号の場所は多分決まってると思うんですが、ちょっと様子を見て、県の方にも聞いてみようかと思えます。

## 参加者 E

大通りについていて、こっち側の住宅街から出る方の信号がついていないというところもありますので、こっちの人は勝手に行くのに、こっちは止まっていないといけない、というところもあります。

## 市長

岡山のイオンも出来て、ここ数日、岡山市が社会実験をするというので、新聞に出てまして、人が歩く場所を増やしましょうというのと、一方で交通渋滞が多いので、それができるのかという議論とか色々あります。一応、倉敷市の方は、倉敷の駅前に新しいアウトレットとイトーヨーカ堂ができた時も、かなり前から調整しまして、そんなにものすごい渋滞にはならなかったかと思うんです。それからJRを利用していただいたりということで、呼びかけたんですけど。本当に交通の面というのは色々あるんです。やはり私が思ってるのは、外の大きな幹線道路と、それから市の中心部を抜く大きな道路が何本かやっぱり必要だなと思っておりまして。ちょっと玉島と地域が違うんですけど、倉敷駅のところの高架のことで、県との間で話をしているというのは、新聞でも読まれていると思うんですが、こういう形で環状道路の整備を進めつつ、やはり大きな真ん中のところが、約2キロにわたって、南北分断しているというのがありますので、渋滞というのはそのことだけではなくて、全部繋がっていると思います。倉敷市としては倉敷駅の高架もぜひしていきたいなとは思っております。またご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。ちょっと違う話になりましたけれども。

## 参加者 F さん

市長さんには、平成20年に倉敷市が国際水泳大会をチボリでした折に、市長さん、大変優しい人で、中国の子どもさんに全部サインを、20人に。チボリのあったところで、レセプションを。中国の子どもが大変喜んだのを記憶しています。

それで、ちょっとお願いです。倉敷には温水プールがあります。水島にも、昔のサロンのところにできております。それから福田公園にも半ドアのプールがありますし、児島にもマリンプールがありますし、真備にもプラザのプールが出来とります。残念ながら玉島だけプールがないので、アウトドアはあるんですけど、インドアのプールを、大きくなくてもいい、4コースぐらいのと子どもの遊び場ぐらいのを作っていただければと思います。

## 市長

ご要望は承りましたが、すぐ、なかなか即答は難しいです。真備のプールはちょっと遠いですか。真備のプール、行かれたりしてませんか。あんまり行かれてませんね。市議会でも質問が出て、その時は、ぜひ真備の方に行ってみてくださいとは言ってるんです。今

のところは、もちろん計画はないです。これからの公共施設の再配置とかやり替えを考えると、市内のある程度の場所ごとに、適切な配置ができればと思っているんですが、今は、お答えができないですが。健康の増進に努めるように頑張りたいと思います。

### 参加者 G さん

柏台に住んでいる者です。玉島の通町の商店街のところに、以前、「3丁目の夕日」でロケーションがあった水門のところに、あの後、きれいな立派な橋ができて、鋳物でなかなか高価なものを、両端のところにしてあるんです。立派な橋にした、もっとPRしたら、また人が寄ってくれるようになるかと思うんです。ただ、車の通り道だけにしたら、ふさわしくない立派な、きれいな街路灯も立ってるし。端っこを歩いて左へ行けば、レトロと言いますか、昭和の煉瓦通りの商店街も、今シャッター通りになってるんですけど。ちょっとみんな力を入れてやれば、玉島も掘り起こしたら、先ほど言われた源平の碑にしても、いろいろ隠れた財産がたくさんあるんですよ。西爽亭、PRしたらいいと思うんですが。それには、昔のことをよく知ってる団塊世代、隠れた潜在力というか、大きなパワーが沈んでるんです。そういういろんな知識を知ってる人を公募して、玉島の青年会議所とかそういうところの若手の人ともコミュニケーションをやったら、玉島のまちも結構捨てたもんじゃないんですよ。今、どの商店街も人通りが少ない、シャッター通りになってる。私たち、柏島小学校区の住人は、学校のボランティアで草刈りしたり、トイレをきれいに行ったり、あの辺に住んでる年配のパワーでそういうことはキープされてるんです。だから、そうした隠れた人の潜在力で。すぐ、高齢者は黙っとけとか言うけれども、高齢者のパワーは捨てたもんじゃないんですよ。行動力も、知識力も。そういうことで、力を合わせていけば。

### 市長

ありがとうございます。本当に地域のボランティアの皆さんが、学校を中心にいろいろご協力をいただいておりますのが、地域の子どもにとっても、また皆さんもボランティアしていただいて、元気を出していただいて、交流も、ということが、それが地域の中で素晴らしいことだと思います。確か柏島小学校は、倉敷市内の中でも地域の皆さんと学校のボランティアの活動が一番早くやっていたらと伺っております。そういうのを手本にして、倉敷市内の他の学校にも、呼びかけをしていきたいと思っています。

### 参加者 H さん

勇崎に住んでいる者です。一緒に考えるこのまちの地域づくり、という題で、私も考えたんですけど、このまちの地域づくりってどんなことがあるんだろうかなと。今までお話を聞いてたら、すごい大きな話、産業とか歴史とかこの柏島地区、八幡地区じゃなくて、広い意味で皆さん発言されているので、なんでもいいでしょうか。

地域資源の一つである玉島みなと公園について。これは本当にいいなとありがたく思ってるんです。平成24年6月に開園して以来、大勢の方が利用されておられると思います。私もその一人で、孫を連れて遊具で遊んでおります。うちの孫は、みなと公園ではなくて、いるか公園と言って親しんでいます。

2年前に開園した時、市長さんに私が、絶対八幡地区のウォーキングマップを作るからと、覚えてくださってますか。八幡愛育委員会で地域の方が歩いているコースを書いても

らいました。そうすると、みなと公園で歩いておられる方がたくさんおられまして、そのみなと公園も私も大好きで、自分の体調に合わせて、好きな時間に好きな距離を。それで、すごい心が安らぐ場所でいいなと思って、八幡愛育委員会のウォーキングマップの中に、みなと公園を発着点として、6コース作りました。地域の方の思いを拾い上げると、たくさん各地域から、こんなところを歩いているよ、というのが出てきまして、まとめるのが大変でしたけれども、6コース出来ました。

昨年度ウォーキングをしたら、愛育委員の中には、参加する人がいなかったんですけど、希望の時には。実際やると60人参加して下さって、うれしかったんです。参加された人が、日ごろ話ができなかったのに、今日はいい話ができ、よかった、という感想や、また来年もして下さいというようなことで。本当に人と人とのつながり、これは大事だな、大切だなということを実感しました。今年度も実施する予定です。

#### 市長

もっと増えるんでしょうか。

#### 参加者 H

昨年度は平地コースだったんですが、今年度は坂道コースですが、きついことはないです。ちょっとした坂なので。11月9日、予定にしております。

このように、玉島みなと公園は地域の方が集える場としての機能を発揮し、私たちの心に安らぎをくれる場所です。この物的環境と、人的環境である地域の各種団体の方と協力しあって、行事やイベントを行うと、この地域が元気になるんじゃないかなと思っております。このことが我が町の地域力になるんじゃないかなと考えてみました。今、みなと公園はとても美しく、芝がびっしりと、桜の木も段々大きくなって、本当にいいなと、日ごろ環境整備をして下さっている方、本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。

#### 市長

玉島のみなと公園は、皆さんも行かれたことがあると思いますけれど、非常に人気がいいという話は聞くんですけども、大体そんな感じですよ。子どもさんを連れて行って下さったり、お散歩して下さったりというのが本当に多いと伺っておりますし、本当に地域の皆さんが、きれいに手入れしていただいて、本当にありがたいと思っております。公園を作るときにも、地元の市議の先生、地元の町内の皆さんに、色々ご相談をしまして、作ることができまして、大変、市内の公園の中でも、非常に人気がある公園だと。それで、今言って下さいました、愛育委員さんが作って下さっておりますウォーキングマップ、これは実は、大変人気がございます、今、支所とか公民館、健康福祉プラザとかに置かせていただいたら、すぐ皆さん、取って帰られまして。それには、ここを歩いたら何キロコースですか、平地コースとか、それとか歩いて行っている途中に、こういう史跡がありますとか、こういう眺めのいいところがありますとか、書いて下さっております、本当に人気があります。もっとPRを。さっきの歴史のこととかも併せてやっていければなと思っております。はい、ありがとうございます。

### 参加者 I さん

新町というところがあります。玉商のグラウンドの裏に、昔は図書館、資料館として使用していましたが。歴史民俗資料館、あれが今、古びとるんですが、何とか有効に建て替えるとか、いろんなこともあるんですが、その点について、どうされるんでしょうか。壊すなら壊す、あそこを通るたびに心配なんです。

### 市長

あそこの歴史民俗資料館ですね。ご存じのように、中身につきましては、地元の皆さんとかと相談をしまして、あそこはちょっと古びてきましたので、玉島市民交流センターの方に移しまして、展示や保存をするようにしておりますので、あそこの建物自体は、今の時点では、用途としては使っておりません。ただまだ、壊してもおりません。かと言って、今から大々的に何か別の用途に使うというのも難しいかなとは思っております。

### 参加者 I さん

要望ですが、あれを壊して、駐車場にしたらどうですか。どういうことになるかという、玉商の野球グラウンドがありますよね。駐車場がないんです、実を言うと。玉商の駐車場でなくても商店街にでも駐車場があれば、新町の方も潤うと思いますが。何とかご検討をお願いします。

### 市長

建物が、その後は進んでないものですので、よく、検討します。確かにあの建物自体はもう使えないかと思っております。当然建物を倒したら、更地にはなります。一番早く使えるものとしては、駐車場かとは思いますが、玉商のグラウンドの駐車場としては、難しいかと思うんですが、さっき言われた商店街とか潤うような、皆さんが行ったり来たり出来るようになったらいいかなと思っております。早く何とかしないといけないと思っておりました。

### 参加者 J さん

今日は玉島発信の地域力の生の声を伺いたいと思って、6月号の広報紙を拝見して、参加させていただきました。生まれと育ちはちょうど町並み保存の、それもど真ん中、今言ってくださった新町の西綿屋なんです。江戸の末期に作られまして、我が家が一つで建っているだけでも大変なんですけれども、そういう本当に古い町・古い家を次の世代に残していくことの大変さを今、しみじみ感じているんです。西綿屋の隣りが道路になって、その隣の家が壊されたり、空き地になったり、新しい家が建ったり、本当に昔ならではの蔵屋敷が、景観が変わってきまして、今、歴史民俗海洋資料館のことも気になっていたんです。その後、空っぽになって、どうするのかしらって。駐車場にというのはびっくりしたんですけれども。実は我が家の西綿屋の隣も空き地になってしまったんです。

倉敷にも倉敷物語館がありますけれども、玉島も、玉島を発信する玉島の歴史とか文化伝統も古いですし、倉敷の中でも玉島は私は誇りに思っていますし、自慢ですので、そこで何らかのうちの西綿屋も活性化できる、そして人も集まる、町も元気になるような、うちの家も活用していただいて。隣りの空き地は昔は食料営団だったんです。そこが今、空っぽになって廃屋になってしまっていて、去年はねずみ騒動で、ねずみが一斉に我が家に引っ

越してきて、もうそこら中に穴をあけて、夜に突然電気が切れたり、電気をねずみがかじっているんです。それでやっと落ち着いたかと思ったら、今度は台風で瓦が飛んできて。それで、うちも蔵が古いんですけども、瓦が飛んで来たりして当って、崩れかけて、建っているだけでも精一杯なのに、どうかならないかしらと思って、逆に玉島歴史物語館みたいな活用ができて、人が集まれるようなところにならないものかしらと思って、勇気をだして手を挙げました。

### 市長

本当に、町並み保存地区の真っただ中にお家があるということで。先ほどから何回も申し上げておりますけれども、本当に玉島の町並み重点整備地区はすでにくつかお家が倒されたところもあると伺っております。倉敷市内の中でも、美観地区は美観地区としてですけれど、本当に残された数少ない、すばらしい通りだと思います。全国的に見ても、例えば、昨年、全国町並みゼミというのがありました。全国の町並みに関心がある方が倉敷市に集まって、倉敷の芸文館とか、玉島の西爽亭とか、児島の下津井とかに行き、色々見たりしたわけですね。ここ（玉島の町並み重点整備地区）も見られまして、この町並みが皆さんと一緒に、少し活動していけば、全国の例から言ってもすばらしいものになると、学者の方とかも言われていたんです。ですので、さっきも少しずつ歩かれる方が、外から来て、見られる方がいらっしゃるって、何件か市と国の補助とか使っていて、少し活用して町並みを直したりとかしてくださる所もできたりして。

やはり、今言われるように、何か核となれるようなところが必要かなと思っております。ただ勿論、市が大きな何か新しい物を作ってということではなくて。言っていたような皆さんと協力して、倉敷の物語館のような、何か仕組みというか、回遊してもらえようというものができたら。かつ、私は是非、玉島のお茶の文化を発信したいと思っています。玉島のお茶の文化は本当にすばらしいものだと思いますし、皆さんのお家にもお茶の文化はもともと気軽にかつ、外国人の人から見たら、うらやましがるようなものだと思いますので、そういうものを組み合わせると、色々発信できたらいいなと思っています。また、地域の住民の方としてのご相談も是非よろしくお話ししたいと思っています。

### 参加者 Kさん

私は自転車で通学しているのですが、最近、我が玉商では交通事故が多発しています。玉商と玉高の生徒の交通マナーが悪いことは否めませんが、新倉敷駅から玉島商業・玉島高校への通学路の道幅が大変狭く、一列でもやはり後ろからくる車がとても怖いです。道幅を広くすることは大変難しいことだと思うので、溝にふたをしてくれるなど、数センチでも幅を広くしていただければ、安心して通学できるなかと。新倉敷の駅からの通学路の道幅は大変狭く、後ろから車が猛スピードでくると、やはり怖い思いをします。

### 市長

確かに自転車はそうですね。車道の方を通らないといけませんからね。今日は玉商の学生さんですが、前にも玉高の学生さんも自転車の通学のことについて困っていると聞かれました。一回、朝の時間とかにうちの道路が交通の者を派遣しますので、よく一緒に現場を見て、ふたを、本当に用水路だったら、地元の方の了解もいるので、何でも掛け

られるわけではない，こことここに掛けたら安全になるというのがわかれば，対応できるものがあつたら，やりたいと思いますので。

#### 参加者 L さん

宮本町のもので。私は水島にある企業の親睦のクラブで，定年後もやっているんですけども。それで，月に2回くらい，県内・県外を色々歩きに行っているんです。特に思うのは，公共交通機関のバスです。これが非常に不便で大変困っているんですけども，先々週も丸亀と善通寺に行ったんですが，ここはコミュニティバスが走っていて，5・6線が整備されていました。非常に便利で，200円と安いし，非常にいいなと思ったんです。それと市内では庄新町の方で乗合バス・タクシーをやっているようですが，例えばそういうやり方もあるかと思うんですけども，手っ取り早いのは一番，バスで，倉敷市が何ぼ補助しとるかわかりませんが，是非その席で要望とか出してもらえると非常に助かるなと思います。特に困るのが，土日祭日，朝着く一番が，9時過ぎるんです。だから平日のような7時台にバスがあると非常に助かるんです。9時を過ぎるとさすがにバスは使えんということになっています。できたら，そういう要望をお願いできたら。そうなれば，子育てにやさしい倉敷でもあり，年寄りにもやさしい倉敷で是非あってほしいなと思っています。

#### 市長

公共交通のことにつきまして，お話をいただきまして。バスの便が減っているというのは本当に色々な皆さんから伺います。ここは市も非常に頭が痛いところがございます，バスの民間の運行になりますので，市もバス会社のほうにも補助金を出しているんです。出しているんですけど，ある程度の採算がとれないと便の存続ができないので，本数を減らすようにどうしてもなってしまうんです。市としましては，今年度から前と仕組みを変えまして，前よりは補助金を増やして，幹線のところはもうちょっと頻繁に走ってもらえるような方向に，何でもかんでも補助金を出せばよいというものではなくて，こういう今言われたような幹線路については，休みの日でも一時間に1本くらいは走ってもらえるようだったら，補助金を出しましょうとか，そういう政策を組んでから，お願いはしております。ちょっとまだ，仕組みを変えたばかりなので，効果がでているかどうかはまだわからないんですけども。

それと今，言ってくださったような地域の乗合バスです。コミュニティタクシーとか，それが今，市内でも導入されているので，そういうものがもしできればいいかなとは思っています。町内のほうはどうですか。そういう動きは。全くないですか。(ないです)じゃあ，今のところ路線バスに期待するしかないということですかね。また，乗られるバスの路線をちょっと伺っておいて，仕組みを変えたぶん，どれくらい効果が上がっているかをちょっと見てみたいと思います。市のほうも公共交通は重要だと思っております。一方で頭を悩ませておりますが，頑張りたいと思います。ありがとうございます。

#### 参加者 M さん

柏台のもので。私のところはボランティアをやろうるんですが，町内をあげてやっています。ペットボトルのキャップを集めとんです。それを集めて，黒崎郵便局に多い時

は45リットルの袋に15杯~20杯くらい持って行きようなんです。先月から玉島の社協にも持っていきよんです。それがワクチンと交換になりますね、800個で。貧しい国へ送ったりします。それを10年くらいやりようなんです、私の町内は。

それとビール缶やジュースの缶のタブ、それも12・13年。それを玉島郵便局が玉島中央病院の秀明荘、あすなる園、そこへ毎年寄付しよんです。それを皆で地区でやってもらえればいいなと思うんです。キャップを倉敷の方は燃えるゴミにいれとんです。なんであれを燃えるゴミに。集めて、よその貧しい国へワクチンを送ってあげたらいいのにと私は言うんです。それを市がちょっと協力してくれんかなと思って。

#### 市長

なるほど。環境衛生協議会は地区によって、もしかしたら、考え方も違うかもしれないですが。言われるように、できればキャップを分けて、それをボランティアのワクチンのほうにいけば、それはそれで、子どものワクチンにもなるし、それからリサイクルにもなるし、いいかなとは思いますが、他の地区や倉敷市の環境部門の考え方もあるかとも思っていますので。一方では、本当は良くないのかもしれないんですが、キャップとかが入っていると、燃やす温度が上がりやすいというのも、一つ燃焼効率には重要だということを知ったことがあるんです。でするので、そういうのが全然ないのも困るんです。

#### 参加者 M さん

ペットボトルを全部、集めようなんです。1か月で800キロくらい出るんです。

#### 市長

本当にペットボトルは是非、分別で。私が市長になってから是非、これは分別で思っています。それなりにお金もかかるんですよ、分別して、処理するには。ただ、今言っていたいたようなそういう方法もありますので、環境部門の方にも言ってみてから、できることならやれればと思います。

前は防災のことがほとんど8割方だったように思いましたが、今日は色んなまちづくりのこととか、健康、それから商店街のこと、環境のこととか、PRのこと、交通のこととかお話をいただきまして、ありがとうございました。皆さんからいただきましたご意見を、これからの市の政策の参考にさせていただいて、良いまちづくりになっていきますように、頑張っていきたいとも思いますし、皆さんも地域の方でできることにつきまして、ご協力をお願いできればと思っております。今日は本当にありがとうございました。